

「クルーズ船で行く麒麟ビール横浜工場 視察会」を開催しました (観光・サービス部会)

観光・サービス部会(部会長＝(株)旭広告社 代表取締役社長 中谷 忠宏)では、10月5日(木)、45名の参加を得て「クルーズ船で行く麒麟ビール横浜工場視察会」を開催した。

当日は、みなとみらい地区のふかり栈橋より(株)横浜グランドインターコンチネンタルホテルの「ル・グラン・ブルー」とリザーブドクルーズの「ジェットセイラー」のクルーズ船2隻に乗船し、京浜工業地帯のクルージングを楽しみながら、麒麟ビール横浜工場敷地内の麒麟栈橋へ向かった。

到着後、昨年10月に最新の映像設備を導入するなどリニューアルした広報施設の視察では、ビールの原材料であるホップや麦に触れ、「一番麦汁」と「二番麦汁」を飲み比べたほか、プロジェクションマッピングにより、仕込釜の内部や酵母が発酵する様子をミクロの世界で体感するなど「見て」「触れて」「味わいながら」ビールづくりを体験した。

その後、敷地内にあるレストランビアポートに場所を移し、田邊副部会長(株)KSP 代表取締役社長)の司会により、「交流会」を開催。中谷部会長の開会挨拶の後、梅村副部会長(株)横浜グランドインターコンチネンタルホテル 代表取締役社長)の乾杯の発声で、歓談に入った。

出来立てのビールを楽しみながら、終始和やかな雰囲気の中、参加者が活発に名刺交換や情報交換を行うなど部会員間相互の交流と懇親が図られた。

また、交流会のPRタイムでは、参加企業より各社の事業概要等の説明が行われた他、急遽マジックを披露する参加者もあり、大いに盛り上がった。

田邊副部会長の閉会挨拶の後、麒麟栈橋より再びクルーズ船2隻に乗船し、工場夜景、横浜ベイブリッジ、みなとみらい地区など横浜ならではの夜景を洋上から楽しみ、ふかり栈橋に到着後解散した。



麒麟ビール横浜工場内にて



ガイドの説明に熱心に聞き入る参加者